（明治四十年二月十三日第三種郵便物認可） 日刊（日曜及祭日祭日翌日休刊） 明治四十二年七月十八日（日曜日） 第百六十四號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

刺客論（下）

稻葉生

顧て之を我國に求むるに、維新前の暴殺時代は暫らく之を不問に附するも鳥羽伏見戰爭の戰血僅かに乾かんとするに際し、横井小楠の變あり、幾もなく大村益次郎の難あり、而して更らに明治四年に於て廣澤眞臣の事あり、爾來大久保は遂に清水谷に斃れ、岩倉は喰違に免かれ、而して森有禮の如きは憲法發布の當日に於て、非命の最後を遂げぬ、其の十月には、大隈伯は外務省の門前に於て一命の代りに一脚を失ひぬ、露國皇太子（今帝）の遭難に於ける、李鴻章の馬關に於ける、其萬死中一生を得たるは不幸中の大幸として我國民は自から申譯をなすと雖も、其中心は今日に於ても尚ほ忸怩たるを禁ずる能はざるものあり、蓋し我國は多くの出來事に於て世界各國に讓らざるとあるも其顕なる一は實に刺客の輩出是れなりと斷言せざるを得ず、是れ豈に國民光榮なりと謂はん哉。

吾人は刺客に就て心理的解剖を試みるの勞を取るを欲せず、其の私怨を以て人を殺すが如き、復讐の如き、彼我兩立せず、遂ひに利益の爲めに、其の對敵者を失はんとするが如き、若くは唯だ極高の位置にある人を殺して、自己の大名を博せんとする、所謂帝王大統領等と無理情死を企つる痴漢の如きは暫らく措いて論せず、されど著明なるものに就て云へば●シーザルを羅馬の議事堂に殺したる當時より、星亨氏を東京市參事會堂に殺したる今日に到る迄、主義の爲めに公共の爲めに、或は國家の爲めにと云ふが如き一種の宗教的感激、此れが根本の動機たるものなかるべからず、唯だ此の如き迷信、此れが主たるが爲めに、此の如き兇險なる事を行ふて顧みず、是れ實に人生の恨事と謂はざるを得ず、良心は人をして臆病ならしむ、然も刺客の或る者等は、良心の命ずる所を遵奉して、身を挺し、之れに當るものなりと自信せり、即ち彼等の或者は所謂る殉道者の心事を以て、殺人罪を敢行しつ〻ありと云ふも不可なし、而して社會の多くの部分は、亦彼等に殉道者の待遇を與へつ〻あり、されば如何に法律が刺客を嚴刑酷罰に處したりとて、苟も歴史が刺客を義人視する間、社會の感情が、之を容認し若しくは奬勵する間、固より容易に之を撲滅し去るを得るの理ある可からざるなり、太史公刺客列傳に曰く、自曹沫至荊軻五人、此其義或成或不成、然其立意較然、不欺其志、名垂後世、豈妄也哉。と、是れ實に刺客に對する無上の頌徳表と謂ふ可し、陶淵明荊軻を詠じて曰く、其人雖已沒、千載有餘情。と、刺客實に千載の下、景慕の標的たる也、刺客亦た榮なりと謂ふ可し、而して今日の我日本に於て、亦た此の感なきにあらず、若し天王寺畔谷中墓地に於て、大久保の刺客島田一郎、森の刺客西野文太郎の墳前に香花の絶えざるを見れば吾人が言の必ずしも架空にあらざるを知らむ、吾人は明言す斷言す、若し社會が刺客に對する待遇を改めざる限りは到底刺客の禍根を蔓延せしむるを禁ずる能はざる可しと、何となれば刺客は、亦ペストの如き一種の傳染病なれば也。

俳句

●波上吟　日曜吟社

△ラムネ（結、松虫の内）

腹の虫グツとラムネに下り鳧　文子
松影に客まち顔やラムネ賣り　秋花
ラムネ賣る松の木蔭の風清し　○から
賣る日は松に風なきラムネ哉　同
虫の出る安い朝鮮ラムネかな　同
松風は償ひの外よラムネ店　淡水

批『句に疲れ』の句を以て壓卷の作とす、總じて結字附き過ぎたるが爲めに類句多きを憾みとす、蜻蛉の題に垣の字を配したるが如き、要するに結字に名詞及代名詞は不可なりとす、廣く應用せらる〻形容詞を配せらる〻方得策なるべしと信ず、次集に於て更に諸君の名吟に接すべきを待望す、自句なし妄批多謝（ひら）

（新刊紹介）

●韓國警察に就て●　内部警務局長松井茂氏が或る席上に於ての演説を摘録し一冊子となしたるものなり韓國警察の沿革及び性質警察官吏の職務警察の組織警察の法規の五種に分ち精明確實に説明せり

●民籍法の説明●　はしがきの中に「執務者の參考に資せんとす」とあれど苟も思を韓國に致さんとするものは是非とも心得置くべき事項なり内容は第一條より第十條に及び一讀能く了解すべし（内部警務局）

●韓國の戸籍に就て●　緒言、戸籍の沿革、人口、民籍施行當初の實地調査、民籍實地調査の經費、結論の六章に分ち丁寧綿密に説明せる者也（統監府書記官岩井敬太郎氏調査）

講談

中山大納言

第一席　松川燕玉演

エー今回始めまして京城新報社の御好みに預り、韓號美談殿中問答と云ふ、松平越中守定信、中山大納言愛親、大江戸の殿中に大議論を闘はした有名のお話を伺ひまする。此越中守定信といふは天明から寛政度に掛けて御評判の高い君、此越中様の御話から言上致しまする、徳川八代將軍吉宗公と仰せられるは、徳川氏十五代御繁昌の中に取分けまして、御明君の聞えの高い御方、其八代様の御次男が田安中納言宗武卿と申上げまして、其の七番目に御生れになつたのが越中様、一説には三男と申しますが七男が實際だと云ふことで、御幼名を賢丸様と仰しやる、御幼年の時から御發明で居らせられ、徳川十代將軍家治公殊の外御寵愛、始終殿中に御在でございまして、御年十八歳の時松平越中守定邦の養子と成り遊ばし、上總介定信と仰せられました、尤も是は將軍家の台命に依り越中様へ御養子に相成つた、ヂ奥方は定邦公の御息女でございます、初めて御夫婦が四方山の御話の時に、定信公が「御身は飯を炊くことを御存じか」と御問遊ばした、姫君は眞赤に成なすつて「妾は左様な卑しき手業は存じませぬ」定信公聲を正して「これはしたり以ての外の言葉である、卑しき手業であるから存せぬと云ふは御身が抑々心得違ひ、今日は泰平であるから多くの侍婢が左右に侍くゆゑ知らず識らず相濟むが、一朝天下に事ある時は、身共は兜を戴き鎧を着し、槍を執つて戰場へ出ねばならぬ、其時には御身は兵糧を炊き兵士を助け、婦人は婦人だけの勤をせなければならぬ、泰平の今日は差支ないやうなもの、何時天下に事あらんとも限らぬから、以來は飯の炊き方は覺えて置かつしやるが宜い」としみ〴〵御話をなすつた、そこで姫君も大きに恥入りまして「委細畏まりました」と、サア是からは大變、翌朝から御附の女中衆と一緒に襷掛けで御飯を炊くことを御覺え遊ばすと云ふ上に立つた御方がそれだ、自然と御家中の風儀がカラリと一變を致す。其頃は泰平が長く續きましたのでどうも文弱に流れ士の風儀が誠に宜くございませぬ、長い大小を手挾んで往來をする者を武骨と罵り野暮と笑ひ、甚しいのは燈籠鬢にかつた〳〵眉毛、下手な幇間みたいな風采。大小は細身に限る、古刀のごく素枯れたのが宜いとか、どうも新刀の背厚は重くていかぬ、無風流だなど〻云つて、誠に惰弱に流れて居りました。所が定信公が後に天下の政治を執るやうになりますと、天下一般にカラリと其風儀が改まり、寛政度の御改革と云つて萬代の美談になつた。一体此御方は八代吉宗公の御孫様でゐらつしやるから、天下の將軍にも成らせらるべき御身分なんだ、御兄様の田安治察と仰せられまする方が早く逝れになつた時に、越中守定信公が田安を御相續をなされ、次第に依ては御本丸に御直りになつて、將軍家にも成らせられべき筈でございましたが、其頃は飛鳥も落す勢であつた田沼主殿頭意次と云ふ老中が、此越中殿がパリ〳〵する、つまり自分の身体へ祟つて來るだらうと云ふ考から、一たび越中様は養子に往つた御方、田安家を御相續は甚だ宜しくないと云つて、田沼がじや〴〵張つたばかりに、どう〳〵勢州桑名十一萬石で御生涯を御送り遊ばした。併し當時天下の器量人は此越中様に越した御方はなかつた。まだ其頃は奥州白河に出でございましたから、此御方を後に白河の樂翁様と云ふ。御隱居をなすつて樂翁と仰せられた。天明の三年に二十六歳で御家督を繼いで、越中守定信といつて奥州白河へ御國入を遊ばす。此御方が丁度御國へ御出になつた時が、どうも世の中の非常に惡い時。と云ふのが天明の三年七月信州の淺間山が非常の噴火でございまして、關東八州の地は七日の間暗黒の世界、灰まじりの砂がドシ〳〵降る、之が爲に一村まるで埋つてしまつた處がある、天地鳴動なすこと七日の間といふ。取分けまして上州は大地が裂け熱湯の如き泥土が湧出まして人家を埋め、人馬の餓死する者二十萬といふ位、米價が非常に騰貴致して、關東八州、奥州出羽、五穀が頓と實りませぬ。そこで越中様が白河へ御國入になつた時に「どうも天下此の如きの饑饉、人民非常に難儀を致す、然るに予が安樂に今日を暮すといふは以ての外の事である、其方共も予に見倣へ」とあつて質素節儉といふ事を仰出される「年に豐凶ありと云つて、年々饑饉が續くものでもなし、年々豐作の續くものでもないから、豐かな時に蓄へて置いて斯樣な時の助に致す、以來予が手本を出すから、家來共は申すに及ばず、領分一般の者、之れを見倣ふて萬端心掛けまするやうに」と云つてサアどうも大層な御儉約、一汁一菜、綿服を御着け遊ばす。

廣告

りん病全治

▲完全なる最新藥の出現と驚く可き効驗▼

▲絶望の淵に沈める淋疾患者に赫く光明▼

男子 が淋病を輕微なる疾病なりと誤認して放任したる結果、病毒は漸次血液中に進軍して幾多の續發症を起し、遂に内臓を犯すに至り遂は恐るべき敗血症、濃毒症の如き狀態を現じて、果ては貴重なる生命を失ふに至るべし故にりん病患者は一刻も早く淋球を服用して怖るべき病根を根治せらるべし

帝國醫科大學實驗

内用 淋球（りんきう）

價三日分金五十錢七日分金一圓廿八日分金三圓五十錢

婦人 の痳疾（せうかち）に至りては男子よりも一層危險甚しく、深く家庭の奥に潜伏せる病毒の禍害は兎角婦人の羞恥心の爲に蔽はれて、懸念の治療を怠る結果、救ふべからざる生殖器諸病を續發して遂に斃る〻に至るは往々世上に見る處なり、淋球の驚く可き効驗は是等悲惨なる婦女子を救ふて餘ある可し

故に淋病患者は輕症たりとも寸時も猶豫にせず、直に淋球を服用して恐る可き病毒の繁殖を未然に防ぎ、永く家庭の和樂を保護し給へ

本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥房

特約店
新井藥房本店 京城南大門通三丁目 電話九〇四番
新井藥房第一分店 同本町三丁目 電話一〇六八番
新井藥房第二分店 同南大門外 電話四七八番

中元と明治屋
京城本町 電話一一二
和洋酒類
洋食料品
西洋菓子
其他香水石鹸
硝子陶器銀器類

壹打函
半打函
キリンビール
切手

▲夏季飲料
ブランデー●ドー酒●ウイスキー●シャンパン
卸小賣
直輸入商
十屋
本店 電話一四八番
電話六六番

京城新報

使用人難

一國の經營は獨り帝王宰相の手のみにて成るものに非ざるが如く、一會社一商店も亦た社長若しくは主人の手のみによりて經營を完ふすること能はず、一國の經營には帝王宰相の外に多くの無名なる働き人ありて能く其事務に從ふが爲に總ての機關は運用せらるゝ也、會社商店亦然り、名君賢相の必要なる如く、忠實勤勉なる無名の働人は何れの社會にも必要缺く可らざるもの也然れども無名なるが爲に世は往々其大切なることを逸視するの傾あり、既に無名の働き人乃ち使用人なるもの一國家社會に一日も缺く可らざるを知らば、彼等が風氣の善惡は國家社會の進步に大なる影響あることに想到せざる可らず、是れ豈決して輕々に看過すべき事ならんや。

韓國に於ける此問題の現狀や如何、韓人側の事は暫く措きて、帝國官憲韓國側各官衙及移住邦人間に於ける現狀は抑も如何、之を十年前の狹隘なる居留地時代に比すれば頗る進步せり、且つ最も近き統監府設置以前に較ぶるも總てに於て秩序も整頓し從て使用人の如き著しく増加し來れり、而して其數の増加と共に使用人なるもの〻風紀は漸次墮落して今や其極點に達せるの觀なくんばあらず、試に日々發行の新聞紙を見よ諸會社諸商店より「不都合の廉を以て解雇す」云々の廣告は殆ど日として之れあらざるはなし、文中流以下の官吏にして「官金費消收賄」等により「免職」となり、或は刑に觸るゝもの尠しとせず、此等の中には祖國に居りし時既に惡癖を有せるものもあらむが、又渡韓後に於て境遇に化せられたるものもあらむ、要するに彼等が墮落の重なる原因は韓國に於ける收入が祖國に於けるよりも多きこと〻家庭的監督を缺くが爲ならずんばあらず、索より世界何れの殖民地にても其入込む多くの人物は決して聖人君子のみに非ざるを以て多少弊害の起り來ることは免る可らずと雖も、半島移住邦人社會現下の狀態にては頗る寒心に堪へず、賣上げ代金若しくは貸金を取りに遣はせば持逃げ或は費消し、官金を保管さすれば之を費消し、或は收賄をなして恬として恥ざるが如き、斯る徒輩を使用する會社の重役、商店の主人、各官省の長官は實に大なる危險を感ずるや明也、邦人社會の現狀斯の如くなれば、自然傭主は被傭人に對して信を置かざるに至るも亦當然也、國家社會經營の運轉者とも云ふべき大切なる無名の働き人にして斯の如く墮落するに至りては邦人社會の進步に支障を與ふること頗る大なりとす、又保護政治の發達にも大なる障害を與ふる也、是れ豈等閑に附し去るべき事ならんや。

余輩は讀者に向て之が矯正の方法を講ぜられん事を望むや切也、其墮落者は制裁を加ふると共に之を善導するの策に出でざる可らず、要は傭者が安心して使用し得るの程度に迄進めざる可らず、余輩は更に識者の一顧を請はんとするもの也。

路透電報

▲波斯王の避難

國民軍の侵入に會ひ防禦力なりし波斯王は遂に攻圍を脱して露國公使館に避難したり（十七日午前東京經由）

東京電報

▲國友重章氏死去

韓國通として知られ同國の事に盡力少なからざりし國友重章氏は十六日死去したり

東京電報

●梨本宮御對顔

梨本宮同妃兩殿下には來る廿日午前十一時曾禰統監、渡邊式部官、安藤大佐等を隨へられ昌德宮に韓皇を御訪問あらせらる筈

●新協約の通告

日本政府は司法權委任に關する日韓新協約の件を十六日各國大使、公使を經て其本國政府へ通告したりと傳へらる

●觀察使會議（十七日）

十七日の觀察使會議は午前は内部に於て地方行政に關する件を、午後は學部に於て地方教育に關する件を議したるが當日は大臣出席せず次官以下のみ出席したり

●米國前副統領の謝狀

過般來韓したる米國前副統領フェアバンクス氏夫妻は韓國に於て受けたる歡待に對し曾禰統監に宛七月四日付を以て大連より左の謝狀を送り來れり

謹啓過日電報を以て簡單に御挨拶申上候處尚韓國滯在中に荊妻に對する閣下の深厚なる御親切を感謝せむが爲め茲に取急ぎ筆を裁し候右御好意を拙者等は最上の事として記憶可致候京城其他韓國旅行せし際は他日亞米利加に於て閣下[illegible]拙者は御配慮に依り愉快に[illegible]の欣榮を得たしと存候何時御[illegible]候へども閣下は最も熱誠なる歡迎を受けらるべくと存候尙ほ茲に申上度きは拙者等と同行せし菱田博士は常に拙者等の安全愉快に注意し吾等の旅行を安全ならしめんが爲めには何事も遺漏なく盡力せられたる事に有之候茲に閣下に對し深厚なる敬意を表し候　敬具

●守衛府の新設

韓國現在兵數は合計七百八十一名にして其中軍部大臣、同次官、軍務局長、經理局長以下本部在勤の將校十六名、步兵六百四十四名、騎兵九十一名なるが今回軍部廢止の結果は宮内府に守衛府を新設し前記將校下士卒の全部を收容する事に内定し居れるが尙現在軍部大臣李秉武氏は守衛府長官たるべし要之今回の軍部廢止は單に名目の變更に過ぎずして財政上殆んど影響なしと云ふ

東京電報

▲中銀貸付決定

韓國中央[illegible]

▲博覽會と韓國出品

日英博覽會に就て韓國出品手續を協議する爲め荻田統監府書記官明日出發すべし

▲瀆職議員保釋許可

小澤川島、佐藤、栗原、田村、松浦、横田、長谷川、西村、日比、澤田、荻野の瀆職議員は本日保釋許[illegible]

●曾禰統監の奉迎宴

曾禰統監は來る廿一日を以て梨本宮殿下奉迎宴を開催する由

●軍部廢止ご詔勅

韓皇には近く軍部廢止に關する詔勅を發せらるべしと

●觀察使昌德宮參內

各觀察使は十九日午前宮中の都合により昌德宮參內韓皇に謁見の筈なり

●各大臣局長の陪食

別項十九日の各觀察使謁見終了後韓皇には李總理以下各大臣松井警務局長澤田地方局長へ陪食を賜はるべしと

●繼續費の現狀

本年度に於て新に豫算に計上したる繼續費及既定繼續費總額は一七、九一八、三五一圓にして昨年度迄の支出額一〇、七七七、一九六圓本年以後支出すべき金額七、一四一、一五五圓なる由なるが其費目に付向ふ五ケ年迄の分左の如し

治道費二、四九六、〇〇〇　仁川水道工事二、四一九、八三九　平壤同上一、三〇〇、〇〇〇　海關工事六、〇六〇、三七二　釜山水道出資金三五〇、〇〇〇　西北營林廠費六〇〇、〇〇〇　宮殿營造費九三七、三四〇　廳舍及官舍新營費二、五八八、八〇〇　開港設備工事調査費一六、〇〇〇　鹽田築造及廳舍新營設備費一、一六〇、〇〇〇

●理事官と司法權

理事官會議の爲め來京中なりし各理事官は十九日頃出發の筈なるが出發前統監は特に司法權委任の件に關し訓示をなす筈なりと

●韓皇の御來訪答禮

韓皇には廿日午後李總理、閔宮相、尹侍從院卿を隨へ統監邸に行幸梨本宮殿下と對顔の上御來訪の答禮を述べらるべしと

●一銀の固定資産

一銀の京城及各支店の家屋及貸附固定資金は約百五十萬圓にして處に依り投資當時と時價は同一ならざるも差引損益なかる可しと

●漁業出願の激增

漁業法實施以來十五日迄に農商工部に接受したる免許漁業法出願書は二千七百件の多數に上りたる由

●韓銀と金融組合

韓國銀行が一般の商業銀行事務と農工銀行事務とを兼營すとの噂ありし以來地方金融組合と農工銀行とは事業の頓挫を來すなきやも計られずとて地方金融組合は合同して其筋に向ひ運動をなすべく目下計畫をなし居れりと傳ふ

●武官學校不廢止

韓國武官學校の修業年限は六ケ年にして現今は一、二學年生五十名在學し居れるが同校は今回軍部廢止の結果解散すべしとの說あるも當局者は之を存置する事に決定し居る旨を言明せりと

●韓銀協約の要點

韓國銀行に對する日韓兩政府の協約中其の根本たる點は日本人の株主が利益の配當を受くるは固より株主ごして當然のことなるも尙此規定を協約中に明記し置くこと韓國政府は一般株主が六分の配當を受くるに至る迄は利益の配當に預からざること等なり

●韓銀條例の發布期

既報の通り目下當局者に於て協議中なる韓國銀行條例は遲くも本月中に發布せらるゝ筈なるが該條例公表せられたる上創立委員の任命あり其の人數は約三四十名にて銀行家より成り官憲は之に與らざる筈なりと

●一銀財産引繼

第一銀行が韓國銀行に引繼ぐべき財産は大体に於て既に決定し居れるが其詳細なる手續は過日來開會せし支配人會議に於て其方針を決定したる由にて引繼ぐべき財産の價額は明治四十一年以前の分は評價を以てし其後の分は實費を以て引繼ぐ筈なりと

●東拓貸出の內定

既報の如く東拓會社貸付規則認可後既に數ケ月を經過するも僅に一件の貸出ありたるのみなるが愈々中村再三氏の數萬圓を始めとし愈吉滄の申請四萬餘圓の貸出內定したりとの事なり

社告

季正に七月中旬諸會社及銀行の半季決算報告も既に完了を告げ追々發表されんとす、而して此等半季間に於ける諸會社及銀行の營業狀況及事務の經過は即ち一般經濟界並に實業界の趨勢如何を語るものに非ずして何ぞや、吾社爰に見る所あり即ち記者を京龍仁間に派し諸會社及銀行の當事者に就て之が營業の狀況及事務の經過を聞知せしめ以て連日の紙上に於ける經濟界並に實業界の爲め聊か參考の資料に供せんとするの微意に外ならざるなり

●戶稅徵收趨勢

戶稅は租稅の收入中第三位を占め現今に於ては好個の財源なるが本稅には逋脫者多く既往五年以前の課稅戶數は僅かに五十一万三千四百四十四戶此稅額十五萬四千〇三十三圓に過ざりしが漸次整理の結果昨年末現在百九十四萬六千六百七十三戶此稅額五十八萬三千九百九十四圓に達せりと而も尙逋脫あるを以て本年度分より免除の慣例あるもの及極貧者に限り控除し其他に就ては總て課稅するの方針を採ることゝしたりと

●殿陵財産未處決

諸殿陵は元來內部の所管に歸すべきものにして此事は既に決定し居れるも帝室財産調査局と度支部との間に於ける事務行違ひの爲め未だ引渡しを了するに至らず隨て內部は之を引繼ぐを得ずして事務の進捗を見る能はざる次第なりと

●速達郵便物の成績

既報の如く京城郵便局にて十五日より京釜[illegible]門、西大門及龍山の四局に於ても今十八日より實行すべしと云ふ但し光化門、西大門[illegible]

●權重顯李根澤歸省

元老權重顯、李根澤の兩氏は去る十五日夫[illegible]の墓地存するを以て京城民團にては目下商工部當局と交渉中なる由

●韓國柞蠶事業不振

鴨綠江對岸たる淸國側にては柞蠶の事業頗る盛んなるに拘らず、韓國側に在りては萎微不振の狀なるが既報鴨綠視察團一行は主として柞蠶事業に關する調査をなす豫定なりと聞く

●駐韓軍戰死者追弔式

駐剳軍戰死者追弔式は既報の如く十六日龍山本願寺に於て行はれたり重なる來會者は大久保軍司令官、西島旅團長、明石參謀長其他聯隊長以下各將校石塚長官、俵次官、荻田書記官等にて駐剳軍兵士約一大隊參列し午後二時より開式導師大谷尊由師の讀經あり後來賓の燒香等あり壯嚴に式を終りたり

●國境不穩の影響

日淸間に懸案となれる諸問題に關し兩國の葛藤を惹起すべしとの飛語國境地方に傳はるや惠山鎭附近の淸人等は頻りに騷擾し引揚準備に汲々たる有樣なるが目下同地方に於ける日本雜貨の著しく低落せるは一般の不景氣其原因なりと雖も亦斯る風說の影響少なからずと同地より歸來せし客は語れり

●民籍調査着手

各道に於ける民籍實査は巡査を主体とし面長をして之が補助者たらしむる方針なるも已を得ざる塲合は巡査監督の下に面長をして實査に任せしむることゝなりたるが期間は約四ケ月にして着手は七月に初まり十二月迄には各道の調査を完了する筈なるが[illegible]、忠北、慶南、平北、黃海、咸北、咸南は各七月より忠南、平南は九月より慶北、江原、全北は八月より京畿は十月より着手すべしと因に右實査は各道に於て一定に之を行ふ方針なりしも農繁時期或は降雨等にて交通絶斷等種々の事情の爲め遂に區々に行ふことゝなれり

●出張所存續運動

一銀引繼後釜山京城仁川等の支店を除くの外他は廢止すべき由は既記の如くなるが唯安東縣出張所は淸國領土に存在し且つ安東縣の經濟事情に影響すること尠少ならざるを以て太田安東縣民長中野商業會議所會頭三崎有志總代の三氏は此頃來上京市原氏と會見存續の運動中なりといふ

●木內次官の引籠

木內農商工部次官は十二指膓蟲に罹り引籠り加養中なりと

●憲兵補助員の處分

韓國憲兵補助員二十名は我暴徒討伐隊の補助機關たるも其經費九十八萬余圓は軍部の豫算に計上され居るが今回軍部の組織變更後に於ける同隊の處分は當局者に於て目下審議中の由にて解散せざるは事實なりと云ふ

●苗浦街道の平穩

興德より苗浦に至る約一里半の街路は由來暴徒の通路に當り通行するもの極めて稀なりしが今回宮川警察部長一行此の通路を隈なく搜索して暴徒を驅逐したる結果昨今此の附近は些の危險なく安全に交通し得らるゝに至れりと

●一進會評議員會

一進會にては十六日午後一時より評議員六十名同會事務所に參集し過去一週間の政治に就き幹部員よりの報告あり同三時散會したりと

●公州地方の農況

公州地方は雨量不足なりしに十一日の豪雨にて用水も不足なきに至りたるが此の分なれば七八分以上の植付け大丈夫ならんと

●鴨綠江の增水

過日來の降雨にて鴨綠江の水量は約五尺の增水を見たりと云ふ

●酒、麵、煙草組合の研究

長谷川町に在る韓人の造酒、製麵、烟草三組合にては之等製造に關する研究中なるが目下白酒、濟酒（藥酒）の釀造改良法に關し專ら研究中也

●日韓關係書の著述

目下上海に滯在中なる玄尙健は日淸事變後に於ける日韓の關係を著述し之れを各國に頒布せんとて目下準備中なりと

●仁川民長の歡迎會

富山縣出身の重立たる有志者は十七日午後七時より花月樓にて岩崎仁川民長の歡迎會を開きしが出席者は三十餘名なりしと

●菊地博士の着任

大韓醫院長醫學博士菊地常三郎氏は十六日午後着京巴城館に入る

●安藤事務官の出發

統監府鐵道廳事務官安藤又三郎氏は十九日午前十時發の列車にて家族と共に平壤に赴任する筈

●小田書記官の歸任

學部小田書記官は忠淸北道觀察使會議に出席中の處十六日歸任

●尊由師の平壤行

西本願寺大谷尊由師は十七日朝平壤に向へり

●孔書記官の歸國

京城淸國總領事館孔書記官は着任以來滿三箇年の服官期を了りたるに付此度北京の或る要職に榮轉する由にて來廿日仁川より山東丸に乘じ歸國すと

●新聞名鑑

日本電報通信社より新聞名鑑なる新著發刊せらる新聞經營者及新聞廣告者に取りては頗る有益の好著也、全國新聞一覽表、同六十三大新聞紙の沿革、印刷器の種類數、活字の種類行數、廣告料の定價等一目瞭然之に加ふるに新聞廣告の沿革、廣告取次業の沿革、通信事業の創立及發達等を詳細に敍述されたるを以て之を讀下すれば座ながらにして全國六十三新聞の體裁勢力廣告の利目及其定價を知るを得且つ苦辛經營の沿革を知ることを得る也新聞の益々進步せらるゝ今日是非共座右に缺く可らざる要事ならん（發行所東京々橋瀧山町日本電報通信社）

●鑛業權許可

本月八日より十五日迄に鑛業權許可を受けたるもの左の如し

平北朔州郡城上面金鑛三十二萬八千四百坪大畑角之助▲同上金鑛五十九萬六千百六十二坪閔永驥▲忠南鎭川郡河西面銅六万五千八百四十坪古谷堅一外二名

●辭令

給七級俸　農商工部技師　淺原義雄
給一級俸　同部鑛務局長　工藤英一
給四級俸　工業傳習所長　野田忠壓
同　平壤鑛業所理事　佐瀨熊鐵

本日の集會

●メソヂスト敎會　旭町三丁目の同敎會にては午前九時より日曜學校同十時より木原牧師の「人類墮落の現象と天父の救濟」午後八時より總組會ある由

●京城基督敎會　日之出町の同敎會にては午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の「使命の自覺」午後八時より同牧師の「自然の映じたる我」と題する說敎あり

公人私人

▲武田範久（曹洞宗韓國布敎管理）不知六に投宿中十六日龍山へ
▲武內貞次郎（大邱監獄看守部長）三日星に投宿中十六日仁川へ
▲本田幸介（水原勸業模範塲長）巴城館に止宿中同日歸原
▲八木辰馬（仁川郵便局長）山本に止宿中同日歸仁
▲菊池常三郎（大韓醫院々長）十六日入京巴城館へ

近事片々

▲東京に於ては日韓新協約を伊公自身になし新統監に爲さしめざるを非也と論調す
▲伊公が鬱々渡韓して締結したるは公が掉尾の失敗也と有識者間に喧傳せらるゝも
▲軍部廢止の如きは第二協約締結の時すべき者司法權委任の如きも當然の事
▲是等の事に依りて公が掉尾の華を飾らんとするが如きドコ迄も功名心の强き[illegible]
▲日韓一家說を唱ふる以上は尙種々斷行すべき事あり緩漫に過ぎると評する論者も有
▲李完用內閣も終に無事新協約成立の手柄によりて現閣持續すとの說は果して眞乎
▲軍相法相は自然不用とならんも其他に異同なしとすれば大韓協會も一進會も失望
▲後繼內閣運動に浮身を窶したる[illegible]鎭夏榮根澤等は疾に油揚を攫れし感あらむ
▲骨折損の疲勞儲け政權爭奪にのみ熱中する韓政客等以後見せしめに聊か効あらむ
▲併し實際に於ては現閣更迭の必要あらむ現閣には既に人心倦めり之れ得策に非ず
▲平安道には近來排日熱顯著にして其排日的私立學校續々起るとの說有果して眞乎
▲然らば以て向ふ暴徒よりも排日的教育の方が却て怖ろし事實ならば大に警戒を要す
▲韓人の繁殖率は漸次減少今や殆ど停止の狀態也と停止は乃ち人口の減少を意味す
▲布哇のカナカ我國のアイヌ族は漸次減却しつゝあり其最初は繁殖停止に始まる也
▲彼斯皇帝アリは國敎より破門せられ露公使の保護に依て今や露國に送らる亦憐憫
▲昨日の榮華は今日の落魂土帝と云ひ彼斯帝と云ひ王者の末路憐む可し噫諸行無常
▲海軍中將伊東義五郎再び新聞三面に浮名を流す近時何ぞ軍人に墮落者の多き事ぞ
▲印度駐在キッチナル將軍は新設の參謀本部長に任せらる彼はロバーツ將軍以上也
▲福島縣に於て寶石發見せらる而も其寶濠州及南阿等の產に優ると喜べき事ぞかし
▲年々夥者に流れ寶石類の輸入三百余万圓に達す此の時自國に寶石鑛發見亦幸也

…決定せり

…假定款は十五日脫稿し昨日創立委員會を開かる

▲相談の相談▼

（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私の實父が病氣で危篤だと云ふ電報が着きましたので歸り度いのですが旅費がないので歸れない國の方にも私に送る程の餘分はないと云つて歸らなくては濟まないし何うしたら宜しいか（不孝の兒）

◎答　それ氣の毒ですが致し方がない、諦めるより致し方がない、故郷に父兄弟を持つた方は平素分に應じて蓄財をして置くことが最も必要です、[illegible]

◎問　[illegible]（七十月二日元田生）

◎答　記者は里子に不贊成なるを以て牛乳の[illegible]

◎ケース君　[illegible]（係）

●自稱主事の窃盜

▲仁川竹原旅館止宿中

仁川宮町竹原旅館へ先頃來止宿する熊本縣生れ當時開城居住淸水武平の部屋に一昨夜何者か忍び入りて金五圓八十錢實印一個書類三通及び貯金通帳一冊在中の折鞄一個を窃取したるものありしかば同旅館にては直ちに仁川警察署へ屆出でたるより係官出張取調へたるに度支部主事と云ふ振れ込みにて同家に止宿中なる野中商（五十）の擧動に不審の廉ありたるより直ちに引致取調べたる處犯人は紛れもなく同人なる事判明したるより目下嚴重取調中なるが勿論度支部主事抔とは口から出任せの僞稱に相違なかるべしとなり

●毛を吹いて創　仁川花町一丁目料理店菊水亭事中村菊二郎は去る九日住所不定の客人より飲食代として無屆懷中時計を預りたるが今日に至るも取りに來たらざるより昨日右の旨屆け出でたれば取締規則違反として告發せらる

…を毆打し居るを認めて仲裁せんとせしより端しなく口論を惹起し忠次は韓の向脛を蹴り微傷を負はしたる騷ぎに會洞派出所の巡査出張南部署へ引致せしが說諭で事濟み

●犬に惚れらる　大和町一丁目土木業梅原庄太郎（四三）は去る十六日午後五時頃用向の爲め龍山に趣く途中旭町三丁目邊より首に鎖鑰の環を箝めたる丈け一尺二三寸…

●お金を上げます　昨年七月頃迄竹園町一丁目一番戶に居住せし浦川やそなる人へ統監府の會計課から御金を上げますから目下の住所を通知あれと

●敷島遊廓の檢梅　仁川敷島遊廓の乙種藝妓の檢梅は一昨日施行せられたるが總員七十七名の中不參者十一名受檢者六十六名の中一名入院四名洗滌を受けたるのみにて他は別條なかりし由

●今日此頃の新町　暑い爲めかは知らね共昨今の新町遊廓は頗る不景氣の樣子にて一昨夜の登樓總客八十四名此費消額僅かに四百三十四圓四十七錢なりしと

●海賊主魁逮捕　去月十七日仁川警察署にて…及び其部下數名を逮捕し其後又開城にて連累者一名を捕縛したることは既記したる所なるが右海賊連累者にて小首魁とも見做され居たる韓聖日（三十）と云ふは此程瑞興にて逮捕せられ一昨日仁川署に護送せられ目下取調中なりと

▲杵谷もん
龍山峯町待合たつもんの女將にして其前身は京都祇園に艶名隱れなき長唄の杵家なり

●婦人の醉倒れ　住所不明の桂姓女と云へる韓婦人は去る十六日午前十時頃旭町二丁目の路上に橫臥し居たるを巡査が保護して南部署に連れ歸りたるが同人は空腹の上多量に飮酒したる爲め遂に前後不覺となりたりとの事に醉の醒むる迄同署に留置して放還したりと困つた女共かな

●水原藥屋殺公判　水原藥屋殺し中家節三郎は第一審裁判にて死刑の宣告を受け被告中家は該判決に服せず辯護士岩本英夫氏を辯護人として法務院に上訴し三宅裁判長審理の下に二回の公判を開きしが謀殺變じて過失殺傷罪たらんとする由

●配達と工夫の撲合　西小門通十九番戶郵便集配人保坂忠次（二六）は一昨十六日午後七時頃南大門通り三丁目にて西部小公洞郵便電信局工夫韓用珠（二三）が煙管を以て小兒…

●日本政治年鑑　東京神田表神保町同文館發行定價金六圓なるが七月三十卅一日迄の申込者は特價四圓五十錢なりと

●納涼會の餘興　既報の如く本町二丁目韓書房の催しに係る第一期納涼會は今十八日午後七時より南山辻屋花園に於て開催さるゝ筈なるが當日は餘興として烟火二十發を打ち揚げ尚藝妓の手踊りある由因に右烟火の中には同書房の商品券及び辻屋の賞券を入れ取得者には右券引替へに現品を渡すべしと時節柄定めて盛會を呈するなるべし

家庭料理

▲南瓜の餡かけ　南瓜をタワシにて洗ひ布巾にて水氣を拭ひ適宜の大きさに切り核と膓とを除き更に賽形に切り鍋に入れ砂糖と醬油と水にて暫く煮込み味の加減をなし煮へたら別鍋に毛篩をあてゝ漉し出し手早くその中に南瓜をあげそこで煮汁を再び鍋に戻し又その中にほど好く水にて溶きたる葛粉を加へ箸にて好くかきまはし中火にかけ絶ずかきまはして葛粉に火が透つたら右の南瓜を椀に盛りその上より注けて供す

◀平民文庫▶

▲桃山高梅樓の梅閣事大谷たまは胃腸病にて本月三日十字病院へ入院病勢重しと云へば御親類筋は宜しく御見舞あつて然る可し（ふの字）●●▲旭町一丁目とかの口入屋何んとか社は周旋して他に入れた女を引き出し又他に入れて料金を取るとかヨウ〳〵客馴染が出來る引き出される（被害者）●●▲龍山の或る役所に勤める岡村とか吉村とか云ふ自稱色男ありけり增榮樓の羽左衛門に惚け返つて居たるが彼女に此の頃情夫が出來たとかにて鬱ぎ返りて沈鬱症にかゝりて病院通ひはれ氣の毒とも思はれざりけり、かまきり）●●▲心配生さんよ、壽町二丁目の中島醫院の隣りの夫婦のものは芽出度納まりました御安心下さい（近所の雁八）●●▲明治町の彫刻師最上君の細君は品格もあり美人でもある（通行人）●●▲若し何等の苦痛なくして死するを得ば死を敢て辭せず死の苦痛は自己の生存を意識せるが故にして例之熟睡中天變地妖若くは人爲何れにせよ毫も其死を意識することなくして死したる人の其死に怨恨を貽さゞるは即ち之れを證せるものなり（小哲士）●●▲過日來鹿兒島孤兒院の捐財募集員とか號する者當地に五六名入り込み居りて各自石鹸若しくは其他の物品を携へ各戶に就きて孤兒院云々を看板に法外の價格にて買上方を強請しつゝあるが果して然るや否や疑へば疑はるゝ（小役人）●●▲太平町の惡路で素人角力がある中々盛んだモッと奮發して大仕掛にやつたら何うです（近所の人）●●▲此の頃の氣候は不順なれば互樣に注意して寢冷へ抔致さぬ樣致し度候（人の子）▲湯屋の番臺に座つて居つて客が少し湯でも水でも澤山使ふと顏を顰めて見る主人達があるが不必要な湯水の使ひ方をするのは不可ないが然うでなければ主人達の方でモ少し太つ腹でなくては客に不快な思ひをさせる（入浴者）▲繪葉書熱もモウさめかゝつた此の次ぎは何にが流行するだらうかしら（阿々子）▲除虫菊の種子をれ持ち合せの方はなきや或は分配して下さる所にても宜し本欄にてれ知らせ下さらば有り難く存じます（紅）▲京城は廣い樣で狹いものだ非常なる勢であつた一調師の興行も三日目から下火になつたスルト梅花美團の百日以上打ち續けて居るのが傑いと云へるかと思ふが何うでしょう（への字）●●▲考へものですな（係）

●紳士の遊興振　右は紙面の都合に依り本日休載

●天氣豫報（自十七日午後六時至十八日午後六時）
西の風曇
十六日（華氏）　最高溫度　八六、二　最低溫度　七五、〇

…當夜配達せしむることを開始せしところ比較的成績良好なるを以て更に蛇化門、南大…京城局に比し一層困難の由なり

●明治町の道路開鑿　明治町より赤門に通ずる新設道路開鑿に就て中途に農商工部…

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣

用途

陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、湯屋、散髮、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹼製造所

中元御進物用適當品荷揃

●ブドウ酒●ブランデー●ウイスキー●シャンパン●キリンビール●キリンピルスナビール●キリン黑ビール●キリンビール切手●商品切手●葉卷煙草●埃及煙草●土耳古煙草●露西亞煙草●石鹼香水●箱入半カチーフ●薄毛シャツ●麻シャツ●膝掛肩掛●ビスケット●洋菓子

其他雜貨各種

歐米雜貨 洋酒食料品 直輸入商

京城本町

辻屋

本店電話二四八
支店電話三六六

一訴訟鑑定願屆申請書類調製
一契約書案作成
一登記登錄證明願手續
一外國旅行劵出願代辨
一官有地貸拂下出願代辨
一諸工事殖林等設計
一土地建物鑛山測量製圖
一田畑宅地鑛山賣買貸借仲介
一電話店舖讓渡仲介

右諸件は堅く秘密を守り誠實に取扱ひ最も迅速に解決可仕候

京城本町一丁目理事廳前

衛藤事務所

統監府御用
宮內府御用

軸物、表裝、金銀屛風、額面、襖、壁張、天井張、雨戶、障子、硝子戶、其他表具、建具一式

表具 建具 商

京城明治町（電話一二八七番）

石川辰次郎

增築落成御披露

一新座敷落成
一室內裝飾並に設備完全
諸器具清潔にして御待遇の叮嚀親切は弊店の特色とす

京城永樂町一丁目

待合 嬉野

代理店

懷中要藥

清心丹は旅行携帶藥として缺く可からざる良藥にして汽車汽船のゑひを快よくすること妙
清心丹は高尙なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を淸朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり
清心丹は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし
清心丹は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ
清心丹は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙
清心丹は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり
清心丹は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎用ひて大に豫防す
清心丹は人魚の商標と高木與兵衛の名義へ御注意之上御求めを乞ふ
清心丹は定價金一圓（箱入）五十錢（箱入）卅錢十五錢（箱入）十二錢（瓶入）廿錢十錢五錢（紙包）の八種あり
清心丹は製造本舖は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は當國到る所の有名藥店にて販賣す

京城南大門通三丁目
電話（九百四番）
新井藥房本店

京城本町三丁目
（電話千六十八番）
新井藥房第一分店

京城南大門外
（電話四七八番）
新井藥房第二分店

牛馬 犬豚 治療所

（入院 隨意）

京城明治町三丁目（電話四二七番）

獸醫 小川龜太郎

小川家畜病院

暑中御進物用品

◉ビール各種（美裝ダース函入 同 切手）
◉清酒各種（同 切手）
◉サイダー各種（函詰色々 同 切手）
◉ウイスキー各種
◉ブランデー各種　其他
◉ブドー酒洋菓子各種

佐藤牧商店

京城本町二丁目電話二九番

東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立●京城代辨店 本町四山口吳服店 電話九番

資本金一千萬圓●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

中元聯合大賣出し

自本月十一日
至同 二十日

現金に限り
正札より壹割引

其外見切反物並によせ切に限り割引なし

京城本町四丁目 吳服商組合

林吳服店　京城本町五丁目　電話六五二番

山枝吳服店　京城本町四丁目　電話二二四番

山口吳服店　京城本町三丁目　電話九番

丸一洋反物店　京城本町三丁目　電話六三五番

圓城吳服店　京城本町三丁目　電話一五七番

惠阪吳服店　京城本町二丁目　電話七二六番

末永吳服店　京城本町四丁目　電話六八二番

名譽銀牌受領 キリンビール

宮內省 博物館 御用

精實を旨とし大勉强仕候也

古今美術書畫表裝 金銀屛風襖片武天井張

表具師 松月堂

京城本町二丁目　電話千三番

●消閑之淸遊●
毎日午後 京城明治町一丁目
京城碁會
（大和湯前〇方隣）
●市中之仙境●

軸物表裝 金銀屛風 額面襖一式 壁張天井張

京城本町二丁目 吉香堂

工場新築落成に付當分の間 二割引

日本郵船株式會社 滊船出帆廣告

仁川海岸通 電話二九番

貨物及船客取扱店

郡回漕店

●釜山長崎門司神戶行 山東丸　八月一日午後三時
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸　八月五日正午
●大連、大沽、牛莊行 山東丸　七月二十日午前五時
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸　七月二十二日正午
●釜山出帆、元山、淸津、浦潮行 立神丸　七月二十八日午後

御注意
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金壹圓▲壹年…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢…

發行所 京城新報社